

水産物に対する放射性物質の安全検査について（第346回）

県では、4箇所の養魚場のニジマス、ヤマメ、イワナ、ギンヒカリ、ハコスチについて放射性物質の安全検査を行いました。

検査結果は、全て不検出でした。

1 検査結果判明日

令和7年6月6日

2 検査結果（養殖魚）

魚種	採捕場所	市町村	漁協	採捕月日	放射性濃度(Bq/kg)・(検出限界値)				
					セシウム134		セシウム137		合計値
ニジマス	養魚場	嬬恋村	－	6月2日	不検出	(6.6)	不検出	(5.5)	不検出
	養魚場	桐生市	－	6月2日	不検出	(5.6)	不検出	(5.1)	不検出
ヤマメ	養魚場	嬬恋村	－	6月2日	不検出	(5.1)	不検出	(4.5)	不検出
	養魚場	沼田市	－	6月3日	不検出	(4.8)	不検出	(4.1)	不検出
イワナ	養魚場	嬬恋村	－	6月2日	不検出	(5.0)	不検出	(5.2)	不検出
ギンヒカリ	養魚場	嬬恋村	－	6月2日	不検出	(7.2)	不検出	(7.2)	不検出
ハコスチ	養魚場	嬬恋村	－	6月2日	不検出	(5.5)	不検出	(4.4)	不検出
	養魚場	嬬恋村	－	5月31日	不検出	(5.2)	不検出	(4.8)	不検出
	養魚場	沼田市	－	6月3日	不検出	(5.6)	不検出	(4.2)	不検出

※ 分析機関：東北緑化環境保全（株）

※ 分析機器：ゲルマニウム半導体検出器

※ 基準値（魚類）放射性セシウム（セシウム134とセシウム137の合計）100 Bq/kg

※ （不検出）とは、検査機器が測定できる検出限界値未満であることを示す。

※ 放射性セシウムの合計は、セシウム134とセシウム137を合算して有効数字2桁で記載。

（平成24年3月15日付け食安発0315第4号厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知）